

## 2030年代に向けた企業と東京の成長に関する調査 ※ご回答締切：1月21日（金）

ご返信先 ⇒ 【FAX】03-3284-1208

(FAX 返信以外の回答方法) 本調査票のメール返信、またはWEB上で回答いただくことも可能です。

【メール (調査票を返送)】 somu2@tokyo-cci.jp 【WEB (右記から回答)】 <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/tcci000240/QA/>

東京商工会議所では「会員企業の繁栄」「首都・東京の発展」「わが国経済社会の発展」の達成に向け活動を展開しています。このたび、2030年代を見据えた首都・東京の将来について、企業が東京の成長に大きな役割を果たすことから、企業の成長に関する調査を実施いたします。調査では、企業の成長を軸に、コロナ禍を乗り越えるための取り組みや、コロナ禍への対応と企業の成長における経営理念・行動指針との関係性、2030年代に向けた企業の成長に関する意向、都市としての東京への期待などについて伺いたく存じます。ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※回答内容は調査目的以外には使用せず、ご回答企業の許可なく企業名や内容を公開することはございません。

※今後 FAX が不要な場合は、以下の電話番号またはメール宛にご連絡ください。

【お問合せ】東京商工会議所 総務統括部総務課 E-mail somu2@tokyo-cci.jp / TEL 03-3283-7551

貴社名とご回答者様のご所属・お役職・お名前・連絡先をご記入ください。

貴社名			
ご所属部署・お役職	貴名		
電話	E-mail		

貴社の概要について、それぞれあてはまるものを1つお答えください。(該当する番号、7桁パレットに○)

業種	1. 製造業 2. 建設業 3. 卸売業 4. 小売業 5. サービス業 ( a. 不動産業 b. 運輸業 c. 情報通信業 d. 飲食・宿泊業 e. その他サービス業 )					
従業員数 ※パート・アルバイト含む	1. 1~20名	2. 21~50名	3. 51~100名	4. 101~300名		
資本金	1. 1000万円未満 (個人事業主を含む)		2. 1000~3000万円未満	3. 3000~1億円未満	4. 1億円~3億円未満 5. 3億円~ 6. その他	

問1~問3では、コロナ禍を乗り越えるために貴社がどのような取り組みを行ったかなどについてお伺いします。

問1. コロナ禍による貴社の経営への影響について、あてはまる項目を1つお選びください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 影響が継続している     | 3. 長期化すると影響が出る可能性がある |
| 2. 影響が出たがすでに収束した | 4. 影響がない             |

問2. 問1を踏まえ、貴社が注力した取り組みとしてあてはまるものをすべてお選びください。  
また、コロナ禍において貴社が国・東京都の支援策で活用したものをすべてお選びください。  
※以下の表にあてはまる番号をすべてご記入ください。

- |                                |                           |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編     | 7. サプライチェーンの強化            |
| 2. 販路開拓の強化 (新規顧客開拓、既存顧客との関係強化) | 8. 既存業務の維持・継続 (テレワークの導入等) |
| 3. 設備投資 (機械設備、デジタル化等)          | 9. 経費削減、業務効率化、アウトソーシング    |
| 4. 人材育成・採用強化                   | 10. 雇用削減・採用抑制             |
| 5. 研究開発 (新技術・製品・サービス) の強化      | 11. 環境負荷の軽減 (省エネ・省資源化など)  |
| 6. M&A投資                       | 12. その他 ( )               |

貴社が注力した取り組み	
活用した国・東京都の支援策	

問3. 問2でお答えいただいた「貴社が注力した取り組み」を進める際に、貴社が重視した行動としてあてはまるものをすべてお選びください。

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 状況変化の察知           | 8. 社内外のコンセンサス             |
| 2. 変化への対応・柔軟性        | 9. プロセス、スケジュールを明確にし準備すること |
| 3. 自社の経営課題の把握        | 10. 社内規定等の規律、規則の遵守        |
| 4. リスクを取ることに         | 11. 過去の例を基にした対応           |
| 5. スピード感             | 12. 効率的に進めること             |
| 6. 挑戦する組織風土の醸成       | 13. 顧客・取引先、従業員等への公平な対応    |
| 7. 社内外との連携・コミュニケーション | 14. その他 ( )               |

問4～問6では、企業がコロナ禍を乗り越える際に経営理念や行動指針が果たした役割についてお伺いします。

**問4. 貴社における、経営理念（社訓、家訓、ビジョン、ミッション等）や行動指針の明文化の状況について、あてはまるものを1つお選びください。**

1. コロナ禍前（2019年12月以前）から明文化している
2. コロナ禍以降（2020年1月以降）に明文化した
3. 明文化していない

**問5. 問4で「1.」または「2.」と回答された方に伺います。貴社の経営理念や行動指針に含まれる項目をすべてお選びください。**

1. 顧客・取引先の満足度向上
2. 従業員の満足度向上
3. 地域社会への貢献、国・地域の発展
4. 幸福、豊かさの追求
5. 挑戦する風土の醸成
6. 未来志向
7. 持続可能な社会、環境
8. 信頼、信用
9. 技術革新、イノベーション
10. 売上・利益の増加、株主への利益還元
11. 協調・チームワーク
12. 顧客・取引先等への公平な対応
13. 変化への柔軟な対応
14. 規律、規則の遵守
15. 主体的な行動
16. 仕事、変化、挑戦等を楽しむこと
17. その他（ ）

**問6. 問4で「1.」または「2.」と回答された方に伺います。問3でお答えいただいた、コロナ禍において「貴社が重視した行動」について、経営理念・行動指針が果たした役割としてあてはまるものを1つお選びください。**

1. 重要な役割を果たした
2. ある程度役割を果たした
3. あまり役割を果たさなかった
4. 全く役割を果たさなかった
5. わからない

問7～問12では、2030年代を見据えた企業の成長に対する考え、意欲等についてお伺いします。

**問7. 経済産業省発行の「地域未来牽引企業ハンドブック」にて、企業を以下の4つの類型として示しています。2030年代に向けて、貴社が目指す姿としてあてはまるものを1つお選びください。**

1. グローバル型：国内需要だけでなく、輸出や海外生産などを通じて海外需要も取り込む
2. サプライチェーン型：国内外で使用、消費される製品・サービスの原材料や、部品調達、流通、販売、決済などを担う
3. 地域資源型：地域資源（食文化、観光、技術など）を活用し、製品・サービスを提供する
4. 生活インフラ関連型：主に地域住民を対象に日常生活に関する製品、サービスを生産、提供する
5. その他（ ）

**問8. 貴社が考える“成長”の要素としてあてはまるものをすべてお選びください。**

1. 売上・利益の増加
2. 付加価値の向上
3. 財務体質の改善
4. 取引先数の増加
5. 市場シェアの拡大
6. 顧客満足度の向上
7. 住民向けサービスの向上
8. 地域への来訪者数の増加
9. 新技術、新サービスの開発、イノベーション
10. 従業員満足度の向上
11. 地域における従業員数の増加
12. ブランド・社会的認知度の向上
13. 取引先（サプライチェーン含む）の経営体質強化
14. その他（ ）

**問9. 問8の“成長”の実現のために貴社が注力していく取り組みとしてあてはまるものをすべてお選びください。**

1. 新分野進出・新事業・製品・サービスの展開
2. 販路開拓の強化
3. 設備投資（機械設備、デジタル化など）
4. 人材育成（後継者育成）・採用強化
5. 研究開発（新技術・製品・サービス）の強化
6. M&A投資
7. サプライチェーンの強化
8. 経費削減、業務効率化、アウトソーシング
9. 雇用削減・採用抑制
10. 環境負荷の軽減（省エネ・省資源化など）
11. その他（ ）

**問10. 2030年代に向けた貴社の成長に関する意向として、あてはまるものを1つお選びください。**

1. 早期に高い成長を実現したい
2. 時間をかけて安定的な成長を実現したい
3. 成長にこだわらず現状を維持したい
4. 衰退期にあり現状維持は困難
5. その他（ ）

問 11. 中小企業の方に伺います。資本金や従業員が一定以上になると大企業に区分されますが、2030 年代を見据えた貴社の意向について最も近いものを1つお選びください。

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1. 大企業を目指している  | 3. 特に考えはなし |
| 2. 中小企業にとどまりたい | 4. その他 ( ) |

問 12. 問 11 で「2. 中小企業にとどまりたい」と回答された方に伺います。中小企業にとどまりたい理由について、貴社の考えに最も近いものをお選びください。

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 環境変化に対応しやすいから   | 6. 資本金を増加させるのはコスト高だから       |
| 2. 経営スピードが速いから     | 7. 中小企業の規模の方がコスト面で適切だから     |
| 3. イノベティブな活動ができるから | 8. 大企業が受ける各種制約を回避したいから      |
| 4. 自社の経営理念に適しているから | 9. 中小企業の方が税制・補助金のメリットが大きいから |
| 5. 人材をマネジメントしやすいから | 10. その他 ( )                 |

問 13～問 16 では、企業が、地域や行政、東商に求めるものについてお伺いします。

問 13. 2030 年代に向けて、貴社が立地する地域への期待としてあてはまるものをすべてお選びください。

- |                           |                                      |
|---------------------------|--------------------------------------|
| 1. 人口の多さ                  | 15. 採用のしやすさ                          |
| 2. 人材の多様性                 | 16. 住環境の良さ                           |
| 3. 産業規模の大きさ               | 17. 教育機関の水準の高さ                       |
| 4. 産業の多様性                 | 18. 教育機関の多様性                         |
| 5. 取引先企業の多さ               | 19. 研究機関の水準の高さ                       |
| 6. 取引先企業の多様性              | 20. 研究機関の多様性                         |
| 7. イベント・行事の規模             | 21. 変化に対応した諸規制（古い規制の撤廃、規制改革等）        |
| 8. イベント・行事の多様性            | 22. 実証実験（新製品・新サービス）のしやすさ             |
| 9. インバウンド需要の大きさ           | 23. 金融機関の多さ                          |
| 10. 海外からのアクセスの良さ          | 24. 金融機関（銀行、証券、生損保、ベンチャーキャピタルなど）の多様さ |
| 11. 国内からのアクセスの良さ          | 25. 公的機関における支援メニューの幅広さ               |
| 12. 情報の得やすさ               | 26. 公的機関における支援メニューの厚さ                |
| 13. 高速通信網やデジタルインフラの充実度の高さ | 27. その他 ( )                          |
| 14. 人脈・ネットワークの構築のしやすさ     |                                      |

問 14. 2030 年代に向けて、世界的な不確実性が高まる中、行政の役割も増していくと想定されます。東京都に期待する行動として、貴社の考えに近いものをすべてお選びください。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 住民・企業・地域との接点強化 | 8. 目標達成に向け実行する力     |
| 2. 状況を把握する力       | 9. 挑戦する風土の醸成        |
| 3. 課題を明らかにする力     | 10. 都庁内外との連携・協体制の強化 |
| 4. わかりやすく説明する力    | 11. 住民、地域企業等への公平な対応 |
| 5. 変化に柔軟に対応する力    | 12. 効率的な組織運営        |
| 6. スピード感          | 13. 法令等の規律、規則の遵守    |
| 7. 新しい価値を生み出す力    | 14. その他 ( )         |

問 15. 東商は 2028 年に創立 150 周年を迎え、2030 年代に向けて3つのミッション「会員企業の繁栄」「首都・東京の発展」「わが国経済社会の発展」を果たすため行動していきます。東商に期待する項目として、貴社の考えに近いものをすべてお選びください。

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 会員企業や地域との接点強化 | 7. 新しい価値を生み出す力      |
| 2. 状況を把握する力      | 8. 目標達成に向け実行する力     |
| 3. 課題を明らかにする力    | 9. 挑戦する風土の醸成        |
| 4. わかりやすく説明する力   | 10. 組織内外との連携・協体制の強化 |
| 5. 変化に柔軟に対応する力   | 11. その他 ( )         |
| 6. スピード感         |                     |

問 16. その他、東京都や東京商工会議所について、ご要望やご意見があればご記入ください。（自由記入）

[自由記入欄]

以上、ご協力ありがとうございました。